

(社) 地盤工学会 四国支部

平成 21 年度 支部総会 議案書

開催日：平成 21 年 4 月 21 日（火）

会 場：高松テルサ 会議室

（高松市屋島西町 2366-1）

## 目 次

平成 20 年度四国支部賞 受賞業績（者）

第 1 号議案 平成 20 年度 支部事業報告（案）

第 2 号議案 平成 20 年度 支部収支決算報告（案）

第 3 号議案 平成 21 年度 支部役員（案）

第 4 号議案 平成 21 年度 支部事業計画（報告）

第 5 号議案 平成 21 年度 支部収支予算（報告）

【参考資料】平成 21 年度以降の事業予定等

四国支部規定等

## 平成 20 年度四国支部賞 受賞業績（者）

### 1 技術賞（応募件数 1 件, 受賞件数 1 件）

受賞業績名	応募者	会員	受賞者
道路改良時に地質脆弱部で発生した地すべりの事例	木村一成（株）ナイバ 山本和彦（同上） 小野山英則（同上） 榎原正幸（愛媛大学） 世良耕一郎（岩手医科大学）	正 正 正 非 非	木村一成（株）ナイバ 山本和彦（同上） 小野山英則（同上）

### 2 技術開発賞（応募件数 0 件）

### 3 研究・論文賞（応募件数 4 件, 受賞件数 2 件）

受賞業績名	応募者	会員	受賞者
堤防における物理探査の適用性について（その2）	田中敏彦（応用地質株式会社） 阿部知之（同上） 林 宏一（同上） 小西千里（同上）	正 正 正 非	田中敏彦（応用地質株式会社） 阿部知之（同上） 林 宏一（同上）
沿岸構造物の液状化被害予測法に関する研究	岡林宏二郎 (高知工業高等専門学校) 林 佑哉 (東海旅客鉄道株式会社)	正 正	岡林宏二郎 (高知工業高等専門学校) 林 佑哉 (東海旅客鉄道株式会社)

### 4 功績賞（応募件数 0 件）

第1号議案 平成20年度 支部事業報告（案）

## 平成 20 年度 地盤工学会四国支部事業報告（案）

### 1. 総会、役員会

#### （1）総 会

平成 20 年 4 月 18 日（金） 高松市（高松テルサ）

- ① 特別会員表彰
- ② 平成 19 年度四国支部賞 受賞業績（者）
- ③ 平成 19 年度 支部事業報告（案）
- ④ 平成 19 年度 支部収支決算報告（案）、監査報告
- ⑤ 平成 20 年度 支部役員（案）
- ⑥ 平成 20 年度 支部事業計画（報告）
- ⑦ 平成 20 年度 支部収支予算（報告）

#### （2）評議員会

第 1 回 平成 20 年 4 月 18 日（金） 高松市（高松テルサ）

- ① 平成 19 年度 支部事業報告
- ② 平成 19 年度 支部収支決算報告
- ③ 監査報告
- ④ 平成 20 年度 支部役員（案）
- ⑤ 平成 20 年度 支部事業計画
- ⑥ 平成 20 年度 支部収支予算

第 2 回 開催日：平成 21 年 2 月 20 日（金） 高松市（高松テルサ）

- ① 本部理事会報告
- ② 公益法人化に向けて
- ③ 支部 50 周年記念事業
- ④ 平成 22 年度全国大会開催地
- ⑤ 平成 20 年度 支部事業報告
- ⑥ 平成 20 年度 支部収支決算見込み報告
- ⑦ 平成 21 年度 支部役員（案）
- ⑧ 平成 21 年度 支部事業計画
- ⑨ 平成 21 年度 支部収支予算
- ⑩ その他

### (3) 幹事会

第1回 平成20年6月12日（水）高松市（高松テルサ）

- ① 地盤工学会第50回通常総会
- ② 本部理事会議事録
- ③ 平成20年度四国支部事業計画
- ④ 支部表彰制度について
- ⑤ 平成20年度 技術研究発表会および見学会
- ⑥ 平成21年度 四国支部50周年記念事業の準備
- ⑦ 45回地盤工学研究発表会（平成22年度）支部派遣部員

第2回 平成20年11月13日（木）高松市（高松テルサ）

- ① 本部理事会議事録
- ② 公益法人化の支部説明会
- ③ 本部・支部連絡協議会
- ④ 本部支部活動強化委員会
- ⑤ 支部50周年記念事業実行委員会設立総会
- ⑥ 技術研究発表会優秀発表賞の受賞者
- ⑦ 四国支部・各県地盤工学研究会 前期事業報告及び後期事業計画
- ⑧ 四国支部賞募集について
- ⑨ 公益法人化に向けての支部対応
- ⑩ 支部交付金見直し基本案について

第3回 平成21年2月20日（金）高松市（高松テルサ）

- ① 本部理事会議事録
- ② 支部交付金見直し基本案
- ③ 平成20年度本部支部懇談会
- ④ 支部賞応募状況
- ⑤ 平成21年度「地盤工学会誌」読者モニター推薦
- ⑥ 平成20年度支部事業報告
- ⑦ 平成20年度決算見込み報告
- ⑧ 平成21年度支部役員（案）
- ⑨ 平成21年度支部事業計画（案）
- ⑩ 平成21年度支部予算（案）
- ⑪ 地盤工学会創立60周年記念 市民対象行事の提案・実施

## 2. 支部定例事業

### (1) 平成20年度地盤工学会四国支部技術研究発表会

主 催：地盤工学会四国支部

日 時：平成20年9月26（金）

13:00～17:00 技術研究発表会(村上水軍博物館 講義室)

17:30～19:30 交流会(いけす料理・海宿 千年松)

平成20年9月27日（土）

9:00～14:30 技術研究発表会(村上水軍博物館 講義室)

参加者数：68名(平成19年度は78名)

発表件数：37件(平成19年度は55件)

技術研究発表会優秀発表者：

セッションI：濱田 康司(香川大学大学院生)

セッションII：市橋 義治(ニタコンサルタント(株))

セッションIII：筒井 秀樹((株)ロイヤルコンサルタント)

セッションIV：神野 邦彦((株)愛媛建設コンサルタント)

セッションV：久木留貴裕(愛媛大学大学院生)

### 【技術研究発表会】プログラム

9月26日（金）

○セッションI 13:00-14:45 座長 吉村 洋(阿南工業高等学校)

1). 空中電磁探査法によるトンネル地山評価の検証事例

香川大学大学院工学研究科 ○濱田康司、香川大学工学部 長谷川修一、山中 稔、西日本高速道路エンジニアリング四国(株) 三谷浩二

2). 高松城天守台内部盛土の土質物性について

香川大学大学院 ○石川照久、香川大学工学部 山中 稔、長谷川修一、高松市文化財課 大嶋和則

3). Combined influence of varying sizes of free mica and mica-like clay minerals on the shear strength of landslide soils in Nepal

愛媛大学大学院理工学研究科 ○Manita Timilsina、Netra Prakash Bhandary、廣田清治

4). 緑化困難地における石炭灰粒状材の緑化基盤性能実証試験

(株)四電技術コンサルタント ○小松博幸、香川大学工学部 増田拓朗、四国電力(株) 竹中佳、(財) 四国産業・技術振興センター 岩原廣彦

5). 石材加工石粉の地盤材料への活用に向けた基礎実験

香川大学工学部 ○山中 稔、長谷川修一、高橋石材 高橋省二、(財) 四国産業・技術振興センター 岩原廣彦

6). 豪雨に伴う斜面崩壊規模と谷密度との関係

香川大学大学院 ○三村 享、香川大学工学部 長谷川修一、山中 稔、Ranjan Kumar Dahal、野々村敦子

7). グラウンドアンカーの荷重計の点検管理方法について

(株) 相愛 ○常川善弘、三重大学大学院 酒井俊典、(株) 相愛 小野 誠、福田雄

8). 道路改良時に地質脆弱部で発生した地すべりの事例

(株) ナイバ ○木村一成 山本和彦、小野山英則、愛媛大学大学院理工学研究科 柳原正幸、岩手医科大学サイクロトロンセンター 世良耕一郎

○ セッションII 14:50-17:00

座長 山中 稔 (香川大学工学部)

9). ブロック積み擁壁の滑動による破壊機構に関する一考察

高松工業高等専門学校専攻科 ○山本陸登、高松工業高等専門学校 向谷光彦、松原三郎、岡崎芳行、日本興業(株) 松山哲也、右近雄大

10). 橋台の変状について

(株) 第一コンサルタント ○水田勝也、関山雅彦

11). 遮水シートを用いたため池漏水対策について

西日本高速道路(株) 四国支社徳島工事事務所 ○堀内悠司、内田純二、赤松土建(株) 山口真市朗

12). 四国横断自動車道 徳島 IC～鳴門 JCT間における軟弱地盤試験盛土計画事例

西日本高速道路(株) 四国支社徳島工事事務所 ○湯浅利幸、内田純二、(株) 北岡組 高橋敬治、(株) ファルコン 平岡一明

13). 矩形、馬蹄形埋設管の動的遠心実験に対するFEM弹性解析

阿南高専 ○吉村 洋、大阪市大 東田 淳

14). GIS-based Roadway Route Optimization Incorporating Landslide Susceptible Areas - A Case of Nepal -

Ehime University ○Netra Prakash Bhandary、Bhoj Raj Pantha、Ryuichi Yatabe

15). 軽量盛土材を使用した補強土壁工法による中山間地における道路構築ークリンカッシュとジオテキスタイル併用構造の設計・施工事例ー

ニタコンサルタント(株) ○市橋義治、安富英樹、住友 智

16). 2001年芸予地震で液状化の発生した埋立地の地盤構造と振動特性

愛媛大学大学院理工学研究科 ○田村一樹、森伸一郎、久木留貴裕

17). 防災教育を通した地域づくり

愛媛大学防災情報研究センター ○鳥居謙一、愛媛大学大学院理工学研究科 松本美紀、矢田部龍一

18). アジアの発展途上国における防災啓発戦略

愛媛大学大学院理工学研究科 ○松本美紀、ネトラ・バンダリー、高橋治郎、矢田部龍一

【交流会】 17:30~

9月27日（土）

○セッションIII 9:00-10:45 座長 二川義人（国土交通省四国技術事務所）

19). 遠心模型実験用振動台の試作

愛媛大学工学部 ○石丸恭平、二神治、愛媛大学大学院理工学研究科 岡村未対、愛媛大学工学部 政岡 孝、稻田静磨

20). 縦ずれ断層変位による地盤破壊実験装置の開発

愛媛大学大学院理工学研究科 ○小澤裕史、河野幸一、森伸一郎

21). 落石運動解析に要するDEMパラメータの推定法に関する一考察

徳島大学大学院 ○内輪丈彰、蒋 景彩、（株）基礎建設コンサルタント 能野一美、徳島大学 大学院山上拓男

22). 落石防護網の現状と問題点

（株）ロイヤルコンサルタント 筒井秀樹、○加賀山 肇

23). 落石防護網の重錘衝突実験

（株）ロイヤルコンサルタント ○筒井秀樹、加賀山 肇

24). Study on Correlation between SPT N value and Pile Penetration Test Data

（株）技研製作所 ○石原行博、尾川七瀬、木下三郎、高知高専テクノフェロー 多賀谷宏三

25). 圧入鋼管杭の鉛直載荷試験結果に関する一考察－単独圧入方式とウォータージェット併用圧入の比較－

（株）技研製作所 ○木下三郎、高知高専テクノフェロー 多賀谷宏三

○セッションIV 10:50-12:25 座長 内田純二（西日本高速道路（株）徳島工事事務所）

26). 不飽和土のサクションが液状化強度特性に及ぼす影響に関する研究

愛媛大学大学院理工学研究科 ○岡村未対、株式会社奥村組 野口康平

27). 四国の高速道路における南海地震に対する土構造物の耐震性評価について

西日本高速道路株式会社 高松技術事務所 ○富田雄一、森春樹、小島秀範

28). 既存杭基礎の地震時地盤変位における耐震性評価チャートの適用

（株）芙蓉コンサルタント ○須賀幸一、小倉和壽、山本信一、愛媛大学大学院理工学研究科 森伸一郎

29). 地盤改良や圧密を考慮した既存道路盛土の耐震性評価に関するFEM解析

（株）愛媛建設コンサルタント ○神野邦彦、愛媛大学大学院理工学研究科 西本健一、森伸一郎

30). 四国地盤情報DBを活用した高知平野の地盤モデル構築

国土交通省四国地方整備局四国技術事務所 ○二川義人、吉良 勉

31). カトマンズ盆地の地盤情報DB構築

愛媛大学大学院理工学研究科 ○村上雄亮、ネトラ・バンダリー、矢田部龍一

32). 四国の研究機関の連携による東南海・南海地震への対応

愛媛大学防災情報研究センター ○矢田部龍一、鳥居謙一、香川大学危機管理研究センター 長谷川修一、徳島大学環境防災研究センター 中野晋、高知大学総合研究センター防災部門 大年邦雄

○ セッションV 13:25-14:30

座長 神野邦彦 ((株)愛媛建設コンサルタント)

- 33). 2003年十勝沖地震で長周期地震動の観測された勇払平野における常時微動測定  
愛媛大学大学院理工学研究科 ○久木留貴裕、森伸一郎
- 34). 2007年能登半島地震で集中被害のあった輪島市門前町道下周辺の地盤特性  
愛媛大学大学院理工学研究科 ○門田慶史、久木留貴裕、森伸一郎
- 35). 2008年四川大地震災害現地調査報告—斜面崩壊・地すべり・ダム被害を中心として—  
徳島大学大学院ソシオテクノサイエンス研究部 ○蒋 景彩、京都大学防災研究所  
王 功輝
- 36). 2008年岩手・宮城内陸地震における地表地震断層と周辺被害  
愛媛大学大学院理工学研究科 ○森伸一郎、久木留貴裕
- 37). 2008年岩手・宮城内陸地震における地震記録から求めた永久変位  
愛媛大学大学院理工学研究科 ○大原光世、門田慶史、森伸一郎

【現地見学会】 「大洲市の肱川治水関連施設見学」

日 時：平成 20 年 12 月 9 日(火) 12:15～17:00

行 程：防災ステーション（肱川、山鳥坂ダム等の説明）、久米川見学、大洲河川工事事務所災害対策室見学、鹿野川ダム見学

参加者：6名 学生 24名

(2) 平成 20 年度学術講演会（土木学会担当）

日 時：平成 21 年 3 月 6 日（金）13:30～16:30

会 場：香川大学工学部（林町キャンパス：3号館 3101 講義室）

参 加 者：59人

内 容：

13:45～14:30 「コンクリート構造物の劣化過程とその現状」

香川大学工学部 教授 松島 学

14:45～15:30 「防災まち歩きのすすめ」

香川大学工学部 教授 長谷川 修一

15:35～16:20 「四国地方整備局の防災への取り組み」

四国地方整備局 環境調整官

3. 各県地盤工学研究会

(1) 徳島県地盤工学研究会

1) 第 4 回地盤と環境に関するシンポジウム（平成 20 年度）

日 時：平成 20 年 9 月 19 日（金） 13:00～17:30

場 所：徳島大学工学部内 工業会館 2 F

参加者：54名

内 容：司 会 （株）基礎建設コンサルタント 中木一文

13:00～13:05 開会挨拶 徳島県技術士会 会長 加賀 昇次

13:05～14:50 特別講演

特別講演 1 13:05～13:50 「徳島県の目指す社会资本整備」

徳島県県土整備部県土整備政策課課長 納田 盛資

特別講演 2 13:50～14:50 「四川大地震災害の調査報告—斜面崩壊・地すべり・ダム

被害を中心として—」

徳島大学大学院准教授 蒋 景彩

「なぜ、中国・四川大地震の被害が大きかったのか？」

徳島大学大学院教授 望月 秋利

15:00～17:10 一般技術発表

① エコツーリズムによる地域活性化の手法－環境保全～地域活性化へ－

菊池 昭宏（徳島県技術士会 事務局長）

② 森林環境の保全に寄与した地域再生の取り組み～上勝アートプロジェクト「里山の彩生」の事例より～ 花岡 史恵：((株)エフ設計コンサルタント)

③ 堤防における物理探査の適用性について（その2）

田中 敏彦（応用地質(株)徳島支店 支店長）

④ 1 m深地温探査による地下水流动経路の特定事例

能野 一美 ((株)基礎建設コンサルタント)

⑤ 国内最大級の補強土壁における壁面変位の推移—多段済みテールアルメの動態観測事例ー 市橋 義治（ニタコンサルタント（株））

⑥ 低応力型一面せん断試験機の開発と液状化試験への適用

奥井 隆（徳島大学博士前期課程 2年）

⑦ 三笠の三次元圧密解析手法を用いた道路盛土の沈下解析

日下 拓也（徳島大学博士後期課程 1年）

⑧ 大用知地区"の崩壊メカニズム解明の試み

小田桐 七郎（四国建設コンサルタント(株)）

## 2) 平成 20 年度徳島県地盤工学特別講演会

日 時：平成 20 年 12 月 23 日（火） 15:00～17:00

場 所：徳島大学工学部建設工学科 3 階 A303

参加者：合計 30 名（学内 20 名、学外 10 名）

演題および講演者：

① 劉 イウ剣（徳島大学大学院ソシオテクノサイエンス研究部・助教）

講演題目：浅い基礎の支持力と遠心力模型実験の意義

② 望月 秋利（徳島大学大学院ソシオテクノサイエンス研究部・教授）

講演題目：CO<sub>2</sub>問題と四国の水

## （2）愛媛県地盤工学研究会

### 1) 四国の地盤災害・地盤環境に関する第8回シンポジウム開催案内

主 催：愛媛大学防災情報研究センター、地盤工学会四国支部

日 時：平成19年6月6日（金）10:20～15:40

会 場：愛媛大学総合情報メディアセンター・メディアホール

発表者：14名

参加者：49名

内 容：

10:30～11:45 セッションI 地すべり・斜面崩壊・落石

座長 向谷光彦

1) 四国の秩父帯における地すべり地の地質特性

応用地質（株）四国支社ジオテクニカルセンター 一色弘充

2) 地すべりによる山岳トンネルの被害に関する検討

応用地質（株） 上野将司

3) 斜面崩壊規模の指標としての谷密度の可能性

香川大学大学院 三村 亨

4) 落石防護工の設計上の課題

第一コンサルタンツ 右城猛、田中工業 加賀山肇、田中登志夫

愛媛大学 矢田部龍一

5) Trends of Landslide Occurrence in Central Nepal and Shikoku Region of Japan

愛媛大学 ネトラ P. バンダリ、矢田部龍一、パンタ・ボジュラジュ、鹿島  
道路 鈴木洋平

12:45～13:30 セッションII 地盤調査法

座長 岡林宏二郎

6) 四万十帯における空中電磁探査法によるトンネル地山評価

香川大学大学院 濱田康司、香川大学 長谷川修一、山中稔

西日本高速道路エンジニアリング四国（株） 三谷浩二

7) 地上型3Dレーザスキャナー空間情報計測システムの活用に向けて

（株）五星 矢野光広

8) 動的貫入機構を備えた静的コーン貫入試験による宅地地盤の支持力評価法

応用地質（株） 利藤房男

13:40～14:25 セッションIII 設計法・土の強度特性

座長 ネトラ P. バンダリ

9) 南海地震に対する漁港岸壁の耐震補強工法に関する研究

高知工業高等専門学校 岡林宏二郎、高知高専専攻科 林佑哉

高知高専テクノフェロー 多賀谷宏三

10) 表面遮水シート工法によるため池堤体の新設計法（その4）

高松高専 向谷光彦、鳴門測量設計（株）田中勝彦

高松高専専攻科 山本陸登

11) Experimental Verification of Seismic Bearing Capacity for Strip Footing on Sand Slope

愛媛大学工学部研究生 Deepak Raj Bhat

愛媛大学大学院 Pralhad Uprety、愛媛大学 岡村未対

14:35～15:20 セッションIV 防災教育

座長 山本 浩司

12) 地域防災における参加型学習のすすめ方

芙蓉コンサルタント 須賀幸一、中村雅夫、弓立晃、小倉和壽、山本信一

13) 専門家参加型防災マップの作成と課題

香川大学大学院 加藤真吾

香川大学 長谷川修一、野々村敦子、山中稔

14) アンケート結果から見た新居浜市小中学校における防災教育の効果と課題

愛媛大学大学院 松本美紀、矢田部龍一

2) 防災教育に関する講演会

主 催：愛媛大学防災情報研究センター&愛媛県地盤工学研究会

日 時：平成20年9月9日(火) 9時30分～11時

会 場：工学部2号館2階 15番講義室

参加者：35名（学生含む）

内 容：

9:30～10:00 防災教育を通した地域づくり・国づくり

愛媛大学防災情報研究センター 矢田部龍一

10:00～11:00（愛媛大学大学院理工学研究科学位申請論文公聴会）

防災まちづくりにおける地域住民動員方法の確立

愛媛大学大学院理工学研究科 松本美紀

3) 大洲市肱川流域の高校生への出前講座

主 催：愛媛県地盤工学研究会

日 時：平成20年12月6日

会 場：肱川防災ステーション

参加者：40名

4) 液状化に関する講演会

主 催：愛媛県地盤工学研究会

日 時：平成20年12月9日(火) 16時00分～17時30分

会 場：愛媛大学総合情報メディアセンター メディアホール

参加者：58人

内 容：

## 不飽和地盤の液状化のモデル化とその応用

東北大学大学院 准教授 渡岡 良介

## 盛土の崩壊範囲の評価と降雨時の耐震性低下に関する解析的モデル化

広島大学大学院 准教授 一井 康二

### 5) 愛媛県地盤工学研究会 学術講演会

—「道路建設に伴うトンネル掘削ならびに路線選定に関する諸問題」—

主 催：地盤工学会四国支部愛媛県地盤工学研究会&愛媛大学防災情報研究センター

日 時：平成 21 年 2 月 16 日（月）

会 場：愛媛大学総合研究棟 2 階 27 番講義室

参加者：24人

内 容：

13:20～14:20 トンネル切羽での変位計測結果に基づく四国の地山の工学的な挙動特性に関する研究 NEXCO 西日本（株） 吉田幸信

14:30～15:30 Highway alignment optimization and maintenance prioritization models  
—A GIS approach incorporating landslide susceptibility—  
愛媛大学博士後期課程 Pantha Bhoj Raj

### （3）高知県地盤工学研究会

#### 1) 第 26 回高知県地盤工学研究会（講演会）

地盤工学における先端技術－圧入技術・土の劣化および東南海・南海地震への取組み－

日 時：平成 20 年 7 月 15 日（火）

会 場：三翠園（高知県高知市鷹匠町 1-3-35） 1F 桜の間

参加者：81名

内 容：

13:05～13:50 「圧入技術に関する地盤工学的研究の動向」  
高知高専名誉教授 多賀谷 宏三

13:50～15:20 「土の劣化－顕在化、予防そして防止－」  
ケンブリッジ大学教授 M. Bolton (通訳あり)

15:30～16:30 港湾空港部門における東南海・南海地震に対する技術的な取組みについて  
高松港湾空港技術調査事務所・調査課長 高橋吉弘

16:30～17:00 総合討論会

#### 2) 「国道194号上八川地先のり面崩壊災害復旧現地見学会」

日 時：平成 20 年 9 月 11 日（木） 11:00～17:00

場 所：高知県いの町上八川地先（別添 現地見学会位置図参照）

参加者：41名

内 容： 11:00 現地集合（別添 国道 194 号崩壊現場周辺図 参照）  
11:15～12:00 概要説明

12:00 ~ 13:00 昼食  
13:00 ~ 15:00 現地踏査  
15:30 ~ 17:00 討論（場所：吾北むさび温泉）

### 3) 研究 発表会

日 時：平成21年2月13日（金）13:00～17:00

会 場：高知共済会館 高知県高知市本町5丁目3-20 TEL: 088-823-3211 FAX: 088-823-3102

内 容：

1) 土石流対策指針の改定による土石流調査方法

(株)第一コンサルタンツ ○村岡志郎、刈谷秋人

2) 土砂災害防止法に基づく基礎調査の現状と課題

(株)第一コンサルタンツ ○松本洋一、谷脇弘

3) Study on Estimation of Ground Resistance during Press-in

(圧入施工時の地盤抵抗力の予測に関する研究)

(株)技研製作所 ○石原 行博、尾川七瀬、木下 三郎、多賀谷 宏三

4) 圧入鋼管杭の管内土の挙動に関する基礎的研究

(Fundamental Study on Plugged-soil Behavior of Open-ended Press-in Tubular Pile)

(株)技研製作所 ○尾川 七瀬 石原 行博、木下 三郎、多賀谷 宏三

5) 圧入開端杭の閉塞推定法に関する研究

高知工業高等専門学校 ○社城尚晃 岡林宏二郎 多賀谷宏三

(株)技研製作所、木下三郎、尾川七瀬、石原行博

6) 沖積地盤の圧入鋼管杭管内土の特性に関する研究

高知工業高等専門学校 ○江口勝太 岡林宏二郎

多賀谷宏三(株)技研製作所、木下三郎、尾川七瀬

7) 圧入鋼管杭管内土の一面せん断試験結果に関する一考察

(株)技研製作所、○木下三郎、尾川七瀬、石原行博

高知工業高等専門学校 江口勝太 岡林宏二郎 多賀谷宏三

8) 沿岸構造物の液状化被害予測法に関する研究

高知工業高等専門学校 ○林佑哉 岡林宏二郎

9) 鋼矢板の載荷試験とシミュレーション解析に関する一考察

(株)技研製作所、○黒田修一、尾川七瀬、多賀谷宏三

10)擁壁の裏込め土のせん断強度定数に関する考察

(株)第一コンサルタンツ ○西村 紘寛

11)補強土壁工法の性能設計手法に関する研究

高知工業高等専門学校 ○中越祐輔、岡林宏二郎

12)高知城の城壁石垣の地震時安定性評価に関する研究

高知工業高等専門学校 ○弘瀬寛、岡林 宏二郎

13)グラウンドアンカーのリフトオフ試験による面的調査方法について

株式会社 相愛 ○常川 善弘、 小野 誠

- 14) 新宇治川放水路トンネル工事における地下水低下防止対策について  
高知河川国道事務所 工務第1課 ○三浦泰幹
- 15) 落石防護ネットの課題  
(株)第一コンサルタンツ ○右城 猛
- 16) 新しい落石防護ネット・ロングスパンの開発  
(株)第一コンサルタンツ ○加賀山 肇
- 17) 新しい石防護ネット・ロングスパンの重錘衝突実験  
(株)ロイヤルコンサルタント ○堀野 和典
- 18) 新しい石防護ネット・ロングスパンの応答解析  
(株)ロイヤルコンサルタント ○筒井 秀樹

#### (4) 香川県地盤工学研究会

##### I 役員会

###### 1) 平成 20 年度第 1 回役員会

日時：平成 20 年 7 月 29 日（火）10：30～12：00

場所：香川大学工学部 2208 会議室

- 議題：1) 平成 20 年度香川県地盤工学研究会役員について  
2) 平成 19 年度の事業報告・収支報告  
3) 平成 20 年度の事業計画案・予算案の審議  
4) 後援事業、その他

###### 2) 平成 20 年度第 2 回役員会

日時：平成 21 年 2 月 16 日（月）13：00～15：00

場所：香川大学工学部 2208 会議室

- 議題：1) 平成 20 年度の事業報告・収支報告  
2) 平成 21 年度の事業計画案・予算案  
3) その他

##### II 主催事業

###### 1) 平成 20 年度第 1 回学術講演会

日 時：平成 20 年 10 月 10 日（金）13:00～17:00

場 所：高松市生涯学習センター（まなび館）大研修室

参加者数：22 名

- 内 容：1) 向谷光彦（高松高専）、長谷川修一（香川大学）  
岩手・宮城内陸地震の現地調査で得られたこと  
2) 河戸克志（大日本コンサルタント(株)地盤防災部）  
空中電磁探査法のトンネル地山や道路のり面への適用事例

3) 今井 博 (大成建設(株) 技術センター)  
電磁レーダー探査法の各種構造物への適用事例

2) 長尾断層ウォーク

日 時：平成 20 年 10 月 25 日（土）9:30-12:00  
行 程：さぬき市亀鶴公園から三木町丸岡八幡神社までの徒步約 6 km のコース  
STOP 1：香川県天然記念物長尾衝上断層露頭の見学（さぬき市長尾町名）  
STOP 2：反射法地震探査測線とボーリング調査結果の説明  
STOP 3：鍛冶池・静薬師、長尾断層沿いの地形を遠望  
STOP 4：諏訪神社（三木町上高岡）  
STOP 5：長尾断層の低断層崖とトレンチ調査地点の見学（三木町氷上）  
案内者：長谷川修一（香川大学）  
参加者数：31 名

3) 平成 20 年度第 2 回学術講演会

日 時：平成 21 年 1 月 30 日（金）13:30~17:00  
場 所：アイパル香川 大会議室  
参加者数：27 名  
内 容：1) Ranjan Kumar Dahal(ネパール国, Tribhuvan 大学地質学科)  
ネパールヒマラヤにおける豪雨による土砂災害  
2) 栢木 智明 ((株) K-HGS)  
道後平野の地下水環境  
—河川水と地下水の相互交流及び想定される水文地質構造について  
3) 河原 能久 (広島大学大学院工学研究科)  
高松平野と丸亀平野における地下水の特徴と利用上の課題

4) 平成 20 年度 第 1 回技術交流会

共 催：地盤工学会四国支部香川県地盤工学研究会、高松工業高等専門学校専攻科,  
後 援：高松高専地域イノベーションセンター  
日 時：平成 21 年 3 月 3 日（火）13:00~15:00  
場 所：高松工業高等専門学校 専攻科棟 2 F 北側講義室  
参加者数：36 名  
内 容：1) 高松高専専攻科 2 年 大西孝典  
道路橋床版の補修判定法の提案と補修対象となる香川県内橋梁数の予測  
2) 高松高専専攻科 2 年 瀬戸亮太  
横補強筋の無い RC 部材のサイドスプリット型付着破壊モデルの提案  
3) 高松高専専攻科 2 年 松本陽介  
ジョイント要素を用いた有限要素法解析の石積み安定計算へ適用性に関する  
研究

## 5) 高松城見学会

日 時：平成 21 年 3 月 17 日（火）10：30～12：00  
場 所：高松城天守台解体修理工事現場（高松市玉藻町）  
案内者：高松市教育委員会、高松市役所公園緑地課  
参加者数：30 名

## 6) 平成 20 年度 第 2 回技術交流会

共 催：地盤工学会四国支部香川県地盤工学研究会、高松工業高等専門学校専攻科、  
高松高専地域イノベーションセンター  
日 時：平成 21 年 3 月 23 日 10：30～12:00  
場 所：高松工業高等専門学校建設環境工学科棟 3 階 5C ホームルーム  
参加者：31 名  
内 容：  
1) 高松高専専攻科 1 年 山本 陸登  
ブロック積み擁壁の滑動機構に及ぼす段数の影響  
2) 高松高専専攻科 1 年 細川 恭平  
繊維補強高韌性モルタルの実用化に関する研究  
3) 高松高専専攻科 1 年 梅本 忠彦  
高性能化した人工軽量骨材コンクリートを用いた RC はりの曲げ性状

## III 後援事業

### 1) 平成 20 年度土木学会四国支部

「香川地域の寺子屋：ため池と PCa(プレキャスト)コンクリートのはなし」  
主 催：土木学会四国支部香川地域の寺子屋‘ため池～PCa コンクリ’環境研究会  
後 援：地盤工学会四国支部香川県地盤工学研究会  
日 時：平成 20 年 8 月 20 日（水）13：00～16：30  
場 所：ルポール讃岐 2F 中会議室（高松市中野町 23-23）  
内 容：  
1) 田中 勝彦（鳴門測量設計株、西日本ため池研究会）  
ため池の昔から今まで  
2) 松山 哲也（日本興業（株））  
プレキャストコンクリート製品のはなし  
参加者：36 名

### 2) 高松高専 地域技術者講習会

「建設分野における新しい分野、海外への志向」  
共 催：土木学会四国支部香川地区行事、高松工業高等専門学校  
後 援：地盤工学会四国支部香川県地盤工学研究会  
日 時：平成 21 年 2 月 25 日（水）9：30～16：30  
場所・定員：高松高専建設環境工学科棟 2F ゼミ室、15 名迄  
対 象：地域の技術者、一般の方も参加可。

- 内 容：1) 「海外における建設工事のはなし・展開」  
(鳴門測量設計㈱；田中 勝彦 客員教授)  
2) 「コンクリート2次製品；魚礁と九州新幹線のはなし・展望」  
(日本興業㈱；松山 哲也 客員教授)  
・土木学会CPD認定事業。GCPDと互換可能。

#### 4. 共催・後援事業

- (1) 一道路防災点検技術者のための一 道路防災点検要領の改訂に伴う技術講習会  
主 催：財団法人 道路保全技術センター  
共 催：独立行政法人 土木研究所、 社団法人 地盤工学会 四国支部  
日 時：平成20年6月17日（火）10:30～16:45  
場 所：高知共済会館3F大ホール 先着130名  
高知県高知市本町5丁目3-20（土佐電鉄鉄道市内線 グランド通駅から徒歩1分）  
内 容 1) 道路防災ドクター講演：調整中  
2) 土木研究所講演：「防災点検の有効性と災害の低減に向けて」  
3) 平成18年度に改訂された点検要領の概要  
4) 安定度調査における点検の着目点  
5) 安定度調査表作成演習（事例研究）  
6) 防災点検結果入力プログラム（点検記録シートの解説）  
参加者：135名
- (2) International Conference on Disasters and Development Bridging  
the gap between theory and practice (ICoDAD 2008)  
主 催：愛媛大学、ネパール工科大学、ネパール地震防災技術協会  
後 援：地盤工学会四国支部  
開催地：ネパール国カトマンズ市  
開催日：2008年11月23日（日）、24日（月）  
開催目的：アジアは気象災害や地震災害の多発地である。しかし、ネパールなどのアジアの発展途上国は、自然災害への備えが乏しい。そのため、自然災害により多大な被害が発生している。本国際会議ではネパールのようなアジアの発展途上国を襲う自然災害の理論と実際について討議し、防災に役立てることを目的としている。  
テーマ：最近の自然災害、各種自然災害研究、各種減災技術研究、防災教育など  
参加者：150名

- (3) 特別講演会「Ibrahim Komoo 教授およびZainab Mohamed 教授講演会」  
主 催：国立高専機構 高松工業高等専門学校  
共 催：地盤工学会 四国支部  
日 時：2008年11月26日（水）13:30～15:30 （開場 13:00～）  
会 場：高松工業高等専門学校図書館3階イノベーションホール

## 内 容 :

Ibrahim Komoo 教授(マレーシア国民大学 (UKM) 元副学長) :

Global Geoparks Network with emphasis on the latest development in Asian region

(アジア地域を中心とした世界のジオパークの現状について)

Zainab Mohamed 准教授(マレーシア マラ工科大学 (UTM) 土木工学科) :

Geohazards research on Malaysian region

(マレーシアにおける地盤災害)

## (4) ジオリスクエンジニアリング』に関する講演会

主 催 : 西日本高速道路㈱四国支社

共 催 : 地盤工学会四国支部

内 容 : 経済学から起因するリスクエンジニアリングの「リスク」を定義し、リスクエンジニアリングの地盤工学への適用方法を概説するとともに、調査・建設段階での土構造物へのコスト分析、契約面への応用、及び供用段階での斜面のリスク回避への応用について講演する。

日 時 : 平成 20 年 12 月 8 日 (月) 13:30~15:00

場 所 : 西日本高速道路㈱ 四国支社 3 階会議室

講 師 : 大津 宏康 京都大学工学部教授※

参加者 : 40 名

## 5. 支部委員会

### (1) 四国支部賞表彰委員会

平成20年度四国支部賞に応募された業績（技術賞、研究・論文賞）について業績の審査および受賞業績の決定を行った。なお、受賞業績の決定は、メール審議によって行われた。

### (2) 四国支部 50 周年記念事業

#### 1) 地盤工学会四国支部創立50周年記念事業実行委員会第 1 回委員会 (設立総会)

日 時 : 平成20年9月29日 (月) 15時30分~17時

会 場 : サンポートホール高松 55 番会議室

出席者 : 支部長 : 山上拓男、準備委員会委員 : 長谷川修一、矢田部龍一、香川泰良、前 浩久 (代理 諸岡元)、杉本達弘 (代理 立川)、評議員 : 菊池良介、西本光浩 (代理 松尾義文)、久保市郎 (代理 川江秀樹)、佐伯武俊、須賀幸一、田村孝治、森 直樹、安藤 進 (代理 鵜川和正)、平田栄司 (代理 井上直樹)、矢部 徹 (代理 北川幸夫)、江隅幸治 (林 裕之)、事務局 : 鈴木 壽、蒋景彩、山中 稔、中島淳子

内 容 :

- ① 地盤工学会四国支部50周年記念行事準備検討委員会からの報告
- ② 地盤工学会四国支部創立50周年記念事業実行委員会の規約(案)について
- ③ 実行委員長あいさつ
- ④ 地盤工学会四国支部創立50周年記念事業について
- ⑤ その他

2) 地盤工学会四国支部創立50周年記念事業実行委員会第2回委員会

日 時 : 平成21年2月20日 (金) 17:10~18:30

会 場 : 高松テルサ 第4会議室

出席者 : 山上拓男、矢田部龍一、香川泰良、前 浩久、山中 稔、立川貴重、玉野好晴、岡田進、上野勝利、西本光浩(代理)、久保市郎(代理 川江秀樹)、大西宣二、佐伯武俊、斎藤章彦、田村孝治、森 直樹、田中千博、安藤 進(代理 亀川和正)、井上雄次(代 五十嵐修一)、事務局: 鈴木 壽、蒋 景彩、中島淳子

内 容 :

- ① 記念シンポジウムについて
- ② 記念式典について
- ③ 記念祝賀会について
- ④ 記念誌について
- ⑤ その他

記念誌「落石の運動機構と対策」の出版について

記念講演会「落石の運動機構と対策」の開催について

四国地盤情報活用協議会特別講演会について

(3) 四国地域地盤問題研究会

四国の山間地は急峻な地形と脆弱な地質からなっており、地盤工学上の問題が絶えない。また、沖積地盤でも軟弱な粘土層や砂層が厚く堆積している高知平野や徳島平野、点在する溺れ谷などで地盤工学的な問題が山積している。また、土構造物の維持管理や南海地震対応、または豪雨の土砂災害など、地盤工学に関わる諸課題に対して弛まざる研究が必要であることはいうまでもない。一方、四国の大規模建設工事はピークを越え、四国の大規模建設工事を支えてきた研究者や技術者は急速に高齢化してきている。そのため、次の時代を担う若手研究者・技術者の活性化が四国支部の緊急の課題である。本委員会では、40代前半までの研究者と技術者からなる委員により、長期的な視点に立って四国地域における有効な国土利用と持続可能な社会形成を地盤工学から支えるための研究について議論を重ねた。

平成20年度委員会開催日

第1回委員会 平成20年9月26日 今治市にて

第2回委員会 平成20年11月14日 高松市にて

#### (4) 落石対策研究会

##### 第4回研究会

日 時：平成20年5月27日(火) 13:00～17:00  
場 所：南国市および高知市  
内 容：ロングスパンポケット式落石防護網の重錘衝突公開実験  
落石対策マニュアルについて

##### 第5回研究会

日 時：平成20年7月22日(火) 13:00～17:00  
場 所：愛媛大学  
内 容：落石対策マニュアルについて

##### 第6回研究会

日 時：平成20年9月22日(火) 13:00～17:00  
場 所：愛媛大学  
内 容：落石対策マニュアルについて

##### 第7回研究会

日 時：平成20年11月4日(火) 13:00～17:00  
場 所：南国市および高知市  
内 容：ロングスパンポケット式落石防護網の重錘衝突公開実験

##### 第8回研究会

日 時：平成20年11月19日(火) 13:00～17:00  
場 所：愛媛大学  
内 容：落石対策マニュアルについて

## 6. 受託研究

### ★NEXCO西日本四国支社 耐震性評価手法検討委員会

- ・受託業務名  
四国支社管内 耐震性評価手法検討業務
- ・業務期間  
自) 平成20年 7月31日  
至) 平成21年 3月 6日
- ・委託者  
西日本高速道路株式会社四国支社高松技術事務所 所長 明石達雄

- ・受託者

(社) 地盤工学会 会長 浅岡 頸

- ・実施体制

地盤工学会四国支部内に「NEXCO西日本四国支社耐震性評価手法検討委員会」（委員長：矢田部龍一、委員数14名）を設置し業務を行った。

- ・内容

NEXCO西日本四国支社管内の高速道路盛土、橋梁基礎、斜面(のり面、地すべり)、トンネル坑口について、南海地震に対する耐震診断手法をWGを設置して検討した。そこでは、四国地域特有の地質及び地盤特性を考慮し、想定される南海地震道の特性を考慮でき、かつ実務的な方法を検討し、南海地震発生直後に点検すべき箇所を選定するマニュアルに資する知見を得るとともに、それをもとに行つた点検結果を照査した。

- ・委員会

2回の委員会を開催してWGで検討された上記の内容を審議した。

第1回委員会 平成20年10月24日 高松市にて

第2回委員会 平成21年2月26日 高松市にて

第2号議案 平成20年度 支部収支決算報告（案）

## 四国支部収支計算書

## 四国支部・一般会計（平成20年度）

科 目	予算額	決算額	差 額	備 考
<b>I 収入の部</b>				
1 事業収入	420,000	15,301,930	△ 14,881,930	
(1) 学術集会事業収入	420,000	805,000	△ 385,000	
1) 見学会収入	20,000	12,000	8,000	
2) 技術研究発表会収入	250,000	793,000	△ 543,000	
3) 本部主催講習会収入	150,000	0	150,000	講習会を行わなかった 予算作成時未定
(2) 受託業務収入	0	14,496,930	△ 14,496,930	
1) NEXCO	0	14,496,930	△ 14,496,930	
2 雑収入	184,000	192,485	△ 8,485	
(1) 受取利息収入	4,000	3,485	515	
(2) 雑収入	180,000	189,000	△ 9,000	
3 繰入金収入	1,800,000	1,807,355	△ 7,355	
(1) 本部交付金収入	1,800,000	1,807,355	△ 7,355	
当期収入合計(A)	2,404,000	17,301,770	△ 14,897,770	
前期繰越収支差額	2,633,618	2,633,618	0	
収入合計(B)	5,037,618	19,935,388	△ 14,897,770	
<b>II 支出の部</b>				
1 事業費支出	1,270,000	14,715,073	△ 13,445,073	
(1) 学術集会事業費支出	470,000	971,605	△ 501,605	
1) 学術講演会費支出	100,000	0	100,000	土木学会からの請求無しのため
2) 見学会費支出	70,000	87,125	△ 17,125	
3) 技術研究発表会費支出	300,000	884,480	△ 584,480	
(2) 受託業務費	0	12,943,654	△ 12,943,654	予算作成時未定
1) NEXCO	0	12,693,654	△ 12,693,654	
3) 受託事務手数料	0	250,000	△ 250,000	
(3) その他事業費支出	800,000	799,814	186	
1) 研究会助成金支出	800,000	799,814	186	
2 管理費支出	1,510,000	2,090,765	△ 580,765	
(1) 僱人費支出	400,000	400,000	0	
(2) 会議費支出	100,000	54,555	45,445	
(3) 旅費・交通費支出	280,000	434,320	△ 154,320	会議の回数が多かった
(4) 通信費支出	50,000	69,860	△ 19,860	
(5) 印刷費製本費支出	80,000	63,000	17,000	
(6) H P管理費支出	80,000	60,000	20,000	
(7) 雑支出	520,000	1,009,030	△ 489,030	本部への消費税
3 繰入金支出	2,000,000	1,500,000	500,000	
地盤工学振興基金支出	2,000,000	1,500,000	500,000	
当期支出合計(C)	4,780,000	18,305,838	△ 13,525,838	
当期支出差額(A)-(C)	△ 2,376,000	△ 1,004,068	△ 1,371,932	
次期繰越収支差額(B)-(C)	257,618	1,629,550	△ 1,371,932	

## 四国支部・地盤工学振興基金特別会計（平成20年度）

科 目	予算額	決算額	差 額	備 考
<b>I 収入の部</b>				
1 雑 収 入	6,000	6,068	△ 68	
(1) 受取利息収入	6,000	6,068	△ 68	
2 繰入金収入	2,000,000	1,500,000	500,000	
(1) 一般会計からの繰入金収入	2,000,000	1,500,000	500,000	
当期収入合計(A)	2,006,000	1,506,068	499,932	
前期繰越収支差額	4,887,066	4,887,066	0	
収入合計(B)	6,893,066	6,393,134	499,932	
<b>II 支出の部</b>				
1 事業費支出	400,000	202,717	197,283	
(1) 自然災害の調査・研究事業費支出	100,000	20,657	79,343	
(2) 50周年記念事業支出	300,000	182,060	117,940	
当期支出合計(C)	400,000	202,717	197,283	
当期収支差額(A)-(C)	1,606,000	1,303,351	302,649	
次期繰越収支差額(B)-(C)	6,493,066	6,190,417	302,649	

## 監査報告書

社団法人 地盤工学会 四国支部

支部長 山上 拓男 殿

平成21年 4月 6日

社団法人 地盤工学会 四国支部

監事 宇藤乾也

監事 沢吹敏範

平成20年4月1日から平成21年3月31日までの平成20年度における会計及び業務の監査を行ない、次のとおり報告する。

### 1 監査の方法

- (1) 会計監査について、帳簿並びに関係書類の閲覧などの必要な監査手続きを実施するとともに、支部事務局から会計監査に関する報告を受け、計算書類につき検討を加えた。
- (2) 業務監査について、支部事務局からの業務の報告を聴取し、関係書類の閲覧などの必要な監査手続きを実施することによって業務執行の妥当性を検討した。

### 2 監査結果

- (1) 平成20年度一般会計、特別会計（地盤工学振興基金）の収支計算書、正味財産増減計算書、貸借対照表及び財産目録は、会計帳簿の記載金額と一致し、支部の収支状況及び財産状況を正しく示していると認める。
- (2) 事業報告書の内容は適正であると認める。
- (3) 支部役員の職務執行に関する不正の行為又は支部規定等に違反する事実はないと認める。

以上

第3号議案 平成21年度 支部役員（案）

平成21年度 地盤工学会四国支部役員

役職	氏名	勤務先(役職)および住所	TEL・FAX
支部長	玉野好晴	西日本高速道路(株) 四国支社副支社長 〒760-0065 高松市朝日町4-1-3	TEL 087-825-1898 FAX 087-823-3636
副支部長	矢田部龍一	愛媛大学 大学院理工学研究科 生産環境工学専攻 教授 〒790-8577 松山市文京町3	TEL 089-927-9817 FAX 089-927-9820
"	小池剛	国土交通省 四国地方整備局 企画部長 〒760-8554 高松市サンポート3-33 高松サンポート合同庁舎	TEL 087-851-8061 FAX 087-851-8044
"	岡田進	(社)日本土木工業協会 四国支部長 〒760-0026 高松市磨屋町6-4 大成建設(株) 四国支店長 〒760-0019 高松市サンポート2-1 高松シンボルタワー19F	TEL 087-851-1254 FAX 087-851-3176 TEL 087-825-3400 FAX 087-825-3444
顧問	望月秋利	徳島大学 大学院ソサイエティ研究部 エコシステム・サイン部門 教授 〒770-8506 徳島市南常三島町2-1	TEL 088-656-9721 FAX 088-656-9721
"	木村昌司	国土交通省 四国地方整備局長 〒760-8554 高松市サンポート3-33 高松サンポート合同庁舎	TEL 087-851-8061 FAX 087-851-8044
"	柏木順	(独)水資源機構吉野川局長 〒760-0018 高松市天神町10-1	TEL 087-835-6600 FAX 087-835-6605
"	武山正人	建設コンサルタント協会 四国支部長 〒760-0066 高松市福岡町3-11-22 (株)四電技術コンサルタント 代表取締役社長 〒761-0121 高松市牟礼町牟礼1007-3	TEL 087-851-5881 FAX 087-823-8730 TEL 087-845-8881 FAX 087-887-2215
"	噂耕司	四国地質調査業協会 理事長 〒760-0067 高松市松福町2-15-24 青葉工業㈱ 代表取締役社長	TEL 089-965-1888 FAX 089-965-1777 TEL 087-862-8222
評議員	長谷川修一	香川大学 工学部安全システム建設工学科 教授 〒761-0396 高松市林町2217-20	TEL 087-864-2155 FAX 087-864-2031
"	笹原克夫	高知大学 農学部 教授 〒783-8502 南国市物部乙200	TEL 088-864-5341 FAX 088-864-5341
"	上野勝利	徳島大学 大学院ソサイエティ研究部 エコシステム・サイン部門 准教授 〒770-8506 徳島市南常三島町2-1	TEL 088-656-7342 FAX 088-656-7342
"	森伸一郎	愛媛大学 大学院理工学研究科 生産環境工学専攻 准教授 〒790-8577 松山市文京町3	TEL 089-927-9818 FAX 089-927-9845
"	土居正信	高松工業高等専門学校 建設環境工学科 教授 〒761-8058 高松市勅使町355	TEL 087-869-3933 FAX 087-869-3929
"	鈴木壽(吉村先生代理)	徳島大学 大学院ソサイエティ研究部 エコシステム・サイン部門 准教授 〒770-8506 徳島市南常三島町2-1	TEL 088-656-7347 FAX 088-656-7347
"	多賀谷宏三	(社)高知高専テクノフェロー 理事・事務局長 〒783-8508 高知県南国市物部200-1	TEL 088-864-5679 FAX 088-864-5679
"	小平田浩司	国土交通省 四国地方整備局 港湾空港部長 〒760-8554 高松市サンポート3-33 高松サンポート合同庁舎8F	TEL 087-851-8061 FAX 087-811-8431
"	海野修司	徳島県 県土整備部長 〒770-8570 徳島市万代町1-1	TEL 088-621-2510 FAX 088-621-2864
"	北原義則	香川県 土木部長 〒760-8570 高松市番町4-1-10	TEL 087-831-1111 FAX 087-834-5374
"	井上要	愛媛県 土木部長 〒790-8570 松山市一番町4-4-2	TEL 089-912-2647 FAX 089-945-0282
"	石井一生	高知県 土木部長 〒780-8570 高知市丸の内1-2-20	TEL 088-823-9811 FAX 088-823-9263
"	大西宣二	西日本高速道路(株)四国支社 建設事業部長 〒760-0065 高松市朝日町4-1-3	TEL 087-825-1893 FAX 087-851-1254
"	佐伯武俊	四国電力(株) 土木建築部 副部長 〒760-8573 高松市丸の内2-5	TEL 050-8801-461 FAX 087-825-3177
"	須賀幸一	(株)芙蓉コンサルタント 取締役技術開発部部長 〒790-0063 松山市辻町2-38	TEL 089-924-1313 FAX 089-923-5717
"	斎藤章彦	(株)四国総合研究所 土木技術部主席研究員 〒761-0113 高松市屋島西町2109-8	TEL 087-844-9215 FAX 087-844-9235

〃 森 直 樹	四国地質調査業協会 理事 〒760-0067 高松市松福町2-15-24	TEL 087-862-5121 FAX 087-862-5120
〃	(株)地研 代表取締役社長 〒780-0974 高知市円行寺25	TEL 088-822-1535 FAX 088-822-1548
〃	四国地質調査業協会 理事 〒760-0067 高松市松福町2-15-24	TEL 087-862-5121 FAX 087-862-5120
〃 田 中 千 博	建設コンサルタント協会 四国支部 理事 〒760-0066 高松市福岡町3-11-22	TEL 087-851-5881 FAX 087-823-8730
	(株)エイトコンサルタント 松山支社 支社長 〒790-0054 松山市空港通2-9-29	TEL 089-971-6511 FAX 089-973-3132
〃 安 藤 進	土工協四国支部 副支部長 〒760-0026 高松市磨屋町6-4	TEL 087-851-6969 FAX 087-851-3176
	鹿島建設㈱ 四国支店 執行役員支店長 〒760-0050 高松市亀井町1-3	TEL 087-839-3100 FAX 087-862-0314
〃 梅 枝 世 司	(社)日本土木工業協会 四国支部 副支部長 〒760-0026 高松市磨屋町6-4	TEL 087-851-6969 FAX 087-851-3176
	西松建設㈱ 四国支店 常務執行役員支店長 〒760-0017 高松市番町3-8-11	TEL 087-831-1471 FAX 087-837-3034
〃 矢 部 徹	(社)日本土木工業協会 四国支部 幹事 〒760-0026 高松市磨屋町6-4	TEL 087-851-6969 FAX 087-851-3176
	清水建設(株) 四国支店 執行役員支店長 〒760-0023 高松市寿町2-4-5	TEL 087-839-4300 FAX 087-822-6614
〃 丸 山 豊	(社)日本土木工業協会 四国支部 幹事 〒760-0026 高松市磨屋町6-4	TEL 087-851-6969 FAX 087-851-3176
	(株)奥村組 四国支店 執行役員支店長 〒760-0020 高松市錦町1-8-41	TEL 087-851-9008 FAX 087-822-9286
〃 井 上 雄 次	(社)日本土木工業協会 四国支部 幹事 〒760-0026 高松市磨屋町6-4	TEL 087-851-6969 FAX 087-851-3176
	(株)大林組 四国支店 執行役員支店長 〒760-0007 高松市中央町11-11	TEL 087-836-3111 FAX 087-831-7125
〃 森 田 紘 一	四国建設業協会 会長 〒760-0026 高松市磨屋町6-4	TEL 087-851-7919 FAX 087-821-4079
支部監事 穴 吹 敏 範	(株)四電技術コンサルタント 土木技術部長 〒761-0121 高松市牟礼町牟礼1007-3	TEL 087-887-2280 FAX 087-887-2265
〃 岡 田 章 二	ニタコンサルタント(株) 代表取締役社長 〒771-0122 徳島市川内町鈴江西38-2	TEL 088-665-5550 FAX 088-665-0155
幹 事 長 前 浩 久	西日本高速道路(株)四国支社 企画調整グループリーダー <sup>1</sup> 〒760-0065 高松市朝日町4-1-3	TEL 087-825-1898 FAX 087-851-1254
事 務 局 長 内 田 純 二	西日本高速道路(株)四国支社 技術グループサブリーダー <sup>1</sup> 〒760-0065 高松市朝日町4-1-3	TEL 087-825-1902 FAX 087-823-3636
事 務 局 員 中 島 淳 子	愛媛大学 工学部環境建設工学科 〒790-8577 松山市文京町3	TEL 089-927-9817 FAX 089-927-9817
幹 事 岡 村 未 対	愛媛大学 大学院理工学研究科 生産環境工学専攻 准教授 〒790-8577 松山市文京町3	TEL 089-927-9820 FAX 089-927-9820
〃 山 中 稔	香川大学 工学部安全システム建設工学科 准教授 〒761-0396 高松市林町2217-20	TEL 087-864-2158 FAX 087-864-2188
〃 蒋 景 彩	徳島大学 大学院ソシオクノサイエンス研究部 エコシステムデザイン部門 准教授 〒770-8506 徳島市南常三島町2-1	TEL 088-656-7346 FAX 088-656-7331
〃 向 谷 光 彦	高松工業高等専門学校 建設環境工学科 准教授 〒761-8058 高松市勒使町355	TEL 087-869-3921 FAX 087-869-3929
〃 岡 林 宏二郎	高知工業高等専門学校 建設システム工学科 准教授 〒783-8508 南国市物部乙200-1	TEL 088-864-5589 FAX 088-864-5589
〃 佐 野 正 佳	国土交通省 四国地方整備局 企画部技術企画官 〒760-8554 高松市サンポート3-33 高松サンポート合同庁舎	TEL 087-851-8061 FAX 087-851-8044
〃 松 尾 義 文	国土交通省 四国地方整備局 港湾空港部海洋環境・技術課長 〒760-8554 高松市サンポート3-33 高松サンポート合同庁舎8F	TEL 087-851-8061 FAX 087-811-8431
〃 正 木 昇	徳島県 県土整備部 建設管理課 技術課長補佐	TEL 088-621-2620

			〒770-8570 徳島市万代町1-1	FAX 088-621-2864
〃	杉 峯 政 夫	香川県 土木部技術企画課課長補佐	TEL 087-831-1111	
		〒760-8570 高松市番町4-1-10	FAX 087-834-5374	
〃	樋 口 志 朗	愛媛県 土木部管理局土木管理課技術企画室 技術室長補佐	TEL 089-912-2647	
		〒790-8570 松山市一番町4-4-2	FAX 089-945-0282	
〃	藤 原 守 男	高知県 土木部防災砂防課課長補佐	TEL 088-823-9825	
		〒780-0837 高知市丸ノ内2-1-19	FAX 088-823-9263	
〃	舟 橋 弘 師	(独)水資源機構吉野川局 施設管理課長	TEL 087-835-6600	
		〒760-0018 高松市天神町10-1	FAX 087-835-6605	
〃	立 川 貴 重	四国電力(株) 土木建築部 土木技術グループ 副リーダー	TEL 087-821-5061	
		〒760-8573 高松市丸の内2-5	FAX 087-821-3177	
〃	久 保 慶 徳	(株)四電技術コンサルタント 参事 地質部長	TEL 087-887-2290	
		〒761-0121 高松市牟礼町牟礼1007-3	FAX 087-887-2205	
〃	石 井 秀 明	(株)ナイヤ 常務取締役	TEL 087-862-5121	
		〒760-0062 高松市塩上町1-3-6	FAX 087-862-5120	
〃	白 川 幸 男	(社)日本土木工業協会 四国支部 大成建設(株) 四国支店参与	TEL 087-851-6969	
		〒760-0026 高松市磨屋町6-4	FAX 087-851-3176	
		〒760-0019 高松市サンポート2-1	TEL 087-825-3413	
			FAX 087-825-3443	
(徳島県) 地域幹事	村 田 啓 之	国土交通省 四国地方整備局 徳島河川国道事務所 河川調査課長	TEL 088-654-9611	
		〒770-0803 徳島市上吉野町3-35	FAX 088-654-9643	
	〃 湯 浅 楠 勝	国土交通省 四国地方整備局 小松島港湾・空港整備事務所沿岸防災対策官	TEL 0885-32-3357	
		〒773-0001 小松島市小松島町字新港9-3	FAX 0885-32-1125	
	〃 久保井 泰 博	西日本高速道路(株) 四国支社徳島工事事務所工務課長	TEL 088-626-2021	
		〒770-0861 徳島市住吉5-1-30	FAX 088-626-5691	
	〃 安 芸 浩 資	ニタコンサルタント(株) 環境防災部課長	TEL 088-665-5550	
		〒771-0122 徳島市川内町鈴江西38-2	FAX 088-665-0115	
	〃 小田桐 七 郎	四国建設コンサルタント(株) 技術二部地質調査課長	TEL 088-683-3393	
		〒771-1156 徳島市応神町応神産業団地3番地1	FAX 088-683-3563	
(高知県) 地域幹事	〃 田 中 敏 彦	応用地質(株) 徳島支店支店長	TEL 088-653-0125	
		〒770-0811 徳島市東吉野町3-8-1	FAX 088-653-0124	
	〃 中 木 一 文	(株)基礎建設コンサルタント 代表取締役	TEL 088-642-5330	
		〒779-3120 徳島市国府町南岩延880-2	FAX 088-642-4216	
	〃 森 和 夫	国土交通省 四国地方整備局 高知河川国道事務所調査課長	TEL 088-832-0779	
		〒780-8023 高知市六泉寺町96-7	FAX 088-833-5357	
	〃 中 西 勝 利	国土交通省 四国地方整備局 高知港湾・空港整備事務所企画調整課長	TEL 088-847-3512	
		〒781-0113 高知市種崎874	FAX 088-837-3001	
	〃 小野寺 哲	高知市 都市整備部	TEL 088-822-8111	
		〒780-8571 高知市本町5-1-45	FAX 088-823-9038	
(愛媛県) 地域幹事	〃 谷 川 正 志	応用地質(株) 高知支店 支店長	TEL 088-833-8811	
		〒780-8010 高知市桟橋通4-16-42 日電工高知ビル2F	FAX 088-832-9501	
	〃 中 村 和 弘	(株)相愛 常務取締役	TEL 088-846-6700	
		〒780-0002 高知市重倉266-2	FAX 088-846-6711	
	〃 明 坂 宣 行	(株)第一コンサルタント 取締役	TEL 088-884-1330	
		〒780-8122 高知市高須新町3-1-5	FAX 088-884-3783	
	〃 岡崎 健 一 郎	(株)疊組 業務監査部長	TEL 088-834-1011	
		〒780-8077 高知市萩町1丁目5番13号	FAX 088-834-1021	
	〃 小 林 範 之	愛媛大学 農学部利水環境工学研究室 准教授	TEL 089-946-9929	
(香川県) 地域幹事		〒790-0905 松山市樽味3-5-7	FAX 089-946-9929	
	〃 川 口 芳 満	国土交通省 四国地方整備局 松山港湾・空港工事事務所企画調整課長	TEL 089-951-0162	
		〒791-8058 松山市海岸通2426-1	FAX 089-946-8010	
	〃 篠 原 俊 憲	カナン地質(株) 取締役会長	TEL 089-958-0071	
		〒791-1114 松山市井門町392-3	FAX 089-958-0151	
	〃 松 田 久 和	(株)シアテック 土木部調査設計二課 副課長	TEL 0897-37-2796	
		〒792-0003 新居浜市新田町3-1-39	FAX 0897-32-5979	
	〃 林 裕 之	(株)奥村組四国支店 土木部長	TEL 087-851-9008	
		〒760-0020 高松市錦町1-8-41	FAX 087-821-1314	
	〃 田 村 彰 三	田村ボーリング(株) 常務取締役	TEL 087-833-7878	

	〒760-0007 高松市中央町6-19-21	FAX 087-834-4795
// 大宮 末廣	応用地質(株)高松支店 支店長 〒760-0020 高松市錦町1-6-8	TEL 087-822-6696 FAX 087-821-0476
// 松木 宏彰	復建調査設計(株)高松支社 地盤技術課長 〒760-0020 高松市錦町1-4-40	TEL 087-826-1913 FAX 087-826-1917
// 富田 直人	(株)豊和開発 坂出事務所 新事業室長 〒762-0011 坂出市江尻町1571-1	TEL 0877-46-5900 FAX 0877-46-6133
// 植田 昌宏	(株)チエリーコンサルタント 調査環境部長 〒760-0037 高松市栗林町3-7-23	TEL 087-834-5111 FAX 087-831-3962

---

第4号議案 平成21年度 支部事業計画（報告）

# 平成 21 年度 支部事業計画(案)

## 1. 総会、役員会等

### (1) 総 会

平成 21 年 4 月 21 日 (火) 16:00~17:00 高松市 (高松テルサ)

- ① 四国支部賞 受賞業績 (者) 表彰
- ② 平成 20 年度 支部事業報告
- ③ 平成 20 年度 支部収支決算報告, 監査報告
- ④ 平成 21 年度 支部役員
- ⑤ 平成 21 年度 支部事業計画 (報告)
- ⑥ 平成 21 年度 支部収支予算 (報告)

### (2) 評議員会

第 1 回 平成 21 年 4 月 21 日 (金) 14:00~15:30 高松市 (高松テルサ)

- ① 平成 20 年度 四国支部賞受賞者
- ② 平成 20 年度 支部事業報告
- ③ 平成 20 年度 支部収支決算報告
- ④ 監査報告
- ⑤ 平成 21 年度 支部役員 (案)
- ⑥ 平成 21 年度 支部事業計画
- ⑦ 平成 21 年度 支部収支予算
- ⑧ その他

第 2 回 平成 22 年 2 月

- ① 平成 21 年度 支部事業報告
- ② 平成 21 年度 支部決算見込み報告
- ③ 平成 22 年度 支部役員 (案)
- ④ 平成 22 年度 支部事業計画
- ⑤ 平成 22 年度 支部収支予算
- ⑥ その他

### (3) 幹事会

必要に応じて開催

## 2. 支部主催事業

平成21年度地盤工学会四国支部技術研究発表会：担当 高知大学 11月予定

見学会：担当 高知大学 11月予定

講習会：四国地方整備局 12月予定

学術講演会：地盤工学会担当（愛媛大学） 11月予定

## 3. 各県地盤工学研究会

### （1）徳島県地盤工学研究会

#### 1) 平成21年度徳島県地盤工学特別講演会

日時：平成21年6月中旬予定

場所：徳島大学工学部内予定

#### 2) 平成21年度地盤と環境に関するシンポジウム（第5回）

日時：平成21年9月中旬予定

場所：徳島大学工学部内予定

### （2）香川県地盤工学研究会

#### I 役員会

##### 1) 第1回役員会

日時：平成21年6月開催予定

##### 2) 第2回役員会

日時：平成22年2月開催予定

#### II 主催事業

##### 1) 平成21年度第1回学術講演会

日時：平成21年7～8月（予定）

##### 2) 見学会

日時：平成21年10～11月（予定）

3) 平成21年度第2回学術講演会

日時：平成22年1～2月（予定）

(3) 高知県地盤工学研究会

1) 第27回高知県地盤工学研究会（講演会）

日時：平成21年6月（予定）

2) 研究会予定

日時：平成21年11月頃

3) 平成21年度 高知県地盤工学研究会幹事会

日時：平成22年1月中旬（予定）

(4) 愛媛県地盤工学研究会

1) 四国の地盤災害・地盤環境に関する第9回シンポジウム

日時：平成21年6月

2) 講演会

日時：平成21年12月

3) 出前講座

日時：平成21年11月

4. 支部委員会

(1) 四国支部50周年記念事業

1) 第3回実行委員会

日時：平成21年4月21日

場所：高松テルサ

内容：50周年記念事業について

2) 記念シンポジウム 「四国における東南海・南海地震研究と対策の最前線」（仮）

日時：平成21年9月25日（金） 13時30分～15時30分

会場：サンポートホール高松61会議室（148名収容）

3) 記念式典

日時：平成21年9月25日（金） 16時00分～17時30分  
会場：サンポートホール高松61会議室（148名収容）

#### 4) 記念祝賀会

日時：平成21年9月25日（金） 18時00分～20時00分  
会場：全日空ホテルクレメント高松

#### 5) 記念誌出版

題目：「50年の歩み」 A4版 150頁 400部印刷  
出版日：平成21年9月25日（金）

### （2）四国地域地盤問題研究会

■平成21年度の計画：平成20年度に引き続き、今後の四国地域の国土利用と持続可能な社会の基盤整備のための地盤災害・防災、地盤環境、水問題、地盤構造物の維持管理、工学者教育、中山間地、土地利用計画、安全・安心等、を主題とし、3回の委員会を開催して議論し、本委員会の研究活動方針を確定する。

### （3）第45回地盤工学研究発表会実行委員会

第45回地盤工学研究発表会は四国支部の担当であり、平成22年8月に松山市にて行われる予定になっている。本委員会は、当該研究発表会を企画し実行するために設置するものである。

#### 第45回地盤工学研究発表会実行委員会（全国大会）

##### 1) 第一回実行委員会

日程：平成21年6月

場所：未定

##### 2) 第二回実行委員会

日程：平成21年11月

場所：未定

第5号議案 平成21年度 支部収支予算（報告）

## 四国支部収支予算

## 一般会計

△は前年度予算額に対して減 (円)

科 目	予 算 額	前 年 度 予 算 額	増 減	備 考
<b>I 収入の部</b>				
1 事業収入	700,000	420,000	280,000	
(1) 学術集会事業収入	700,000	420,000	280,000	
1) 学術講演会収入	150,000	0	150,000	
2) 見学会収入	20,000	20,000	0	
3) 技術研究発表会収入	330,000	250,000	80,000	
4) 講習会収入	200,000	150,000	50,000	
2 雑収入	184,000	184,000	0	
(1) 受取利息収入	4,000	4,000	0	
(2) 雑収入	180,000	180,000	0	
3 繰入金収入	1,670,000	1,800,000	△ 130,000	
(1) 本部交付金収入	1,670,000	1,800,000	△ 130,000	
当期収入合計(A)	2,554,000	2,404,000	150,000	
前期繰越収支差額	920,000	2,633,618	△ 1,713,618	
<b>収入合計(B)</b>	<b>3,474,000</b>	<b>5,037,618</b>	<b>△ 1,563,618</b>	
<b>II 支出の部</b>				
1 事業費支出	1,270,000	1,270,000	0	
(1) 学術集会事業費支出	470,000	470,000	0	
1) 学術講演会費支出	100,000	100,000	0	
2) 見学会費支出	70,000	70,000	0	
3) 技術研究発表会費支出	300,000	300,000	0	
(2) その他事業費支出	800,000	800,000	0	
1) 研究会助成金支出	800,000	800,000	0	
2 管理費支出	1,530,000	1,510,000	20,000	
(1) 働人費支出	400,000	400,000	0	
(2) 会議費支出	100,000	100,000	0	
(3) 旅費・交通費支出	300,000	280,000	20,000	
(4) 通信費支出	50,000	50,000	0	
(5) 印刷費製本費支出	80,000	80,000	0	
(6) H.P管理費支出	80,000	80,000	0	
(7) 雑支出	520,000	520,000	0	
3 繰入金支出	0	2,000,000	△ 2,000,000	
地盤工学振興基金支出	0	2,000,000	△ 2,000,000	
当期支出合計(C)	2,800,000	4,780,000	△ 1,980,000	
当期支出差額(A)-(C)	△ 246,000	△ 2,376,000	2,130,000	
次期繰越収支差額(B)-(C)	674,000	257,618	416,382	

## 四国支部収支予算

## 四国支部地盤工学振興基金特別会計

△は前年度予算額に対して減 (円)

科 目	予 算 額	前 年 度 予 算 額	増 減	備 考
<b>I 収入の部</b>				
1 雜 収 入	6,000	6,000	0	
(1) 受取利息収入	6,000	6,000	0	
2 繰入金収入	0	2,000,000	△ 2,000,000	
(1) 一般会計からの繰入金収入	0	2,000,000	△ 2,000,000	
当期収入合計(A)	6,000	2,006,000	△ 2,000,000	
前期繰越収支差額	6,200,000	4,887,066	1,312,934	
<b>収入合計(B)</b>	<b>6,206,000</b>	<b>6,893,066</b>	<b>△ 687,066</b>	
<b>II 支出の部</b>				
1 事業費支出	2,100,000	400,000	1,700,000	
(1) 自然灾害の調査・研究事業費支出	100,000	100,000	0	
(2) 50周年記念事業支出	2,000,000	300,000	1,700,000	
当期支出合計(C)	2,100,000	400,000	1,700,000	
当期収支差額(A)-(C)	△ 2,094,000	1,606,000	△ 3,700,000	
次期繰越収支差額(B)-(C)	4,106,000	6,493,066	△ 2,387,066	

## 【参考資料】

- ①平成 21 年度以降の事業予定
- ②四国支部設立 50 周年記念事業
- ③四国支部規定等

- ・ 地盤工学会四国支部規程 (平成 19 年 5 月 11 日理事会承認)
- ・ 地盤工学振興基金規程 (平成 12 年 4 月 27 日理事会制定)
- ・ 地盤工学振興基金運用細則 (平成 12 年 4 月 20 日評議員会制定)
- ・ 地盤工学会四国支部特別表彰規定 (平成 20 年 1 月 8 日評議員会制定)
- ・ 地盤工学会四国支部年次表彰規程 (平成 20 年 1 月 8 日評議員会制定)
- ・ 地盤工学会四国支部技術研究発表会表彰規程  
(平成 20 年 1 月 8 日評議員会制定)
- ・ 旅費、謝金等支払い内規 (平成 18 年 2 月 22 日評議員会了承)
- ・ 会計管理体制 (平成 12 年 9 月 25 日日本部提出)
- ・ 各県地盤工学研究会助成内規 (平成 17 年 4 月 15 日評議員会了承)

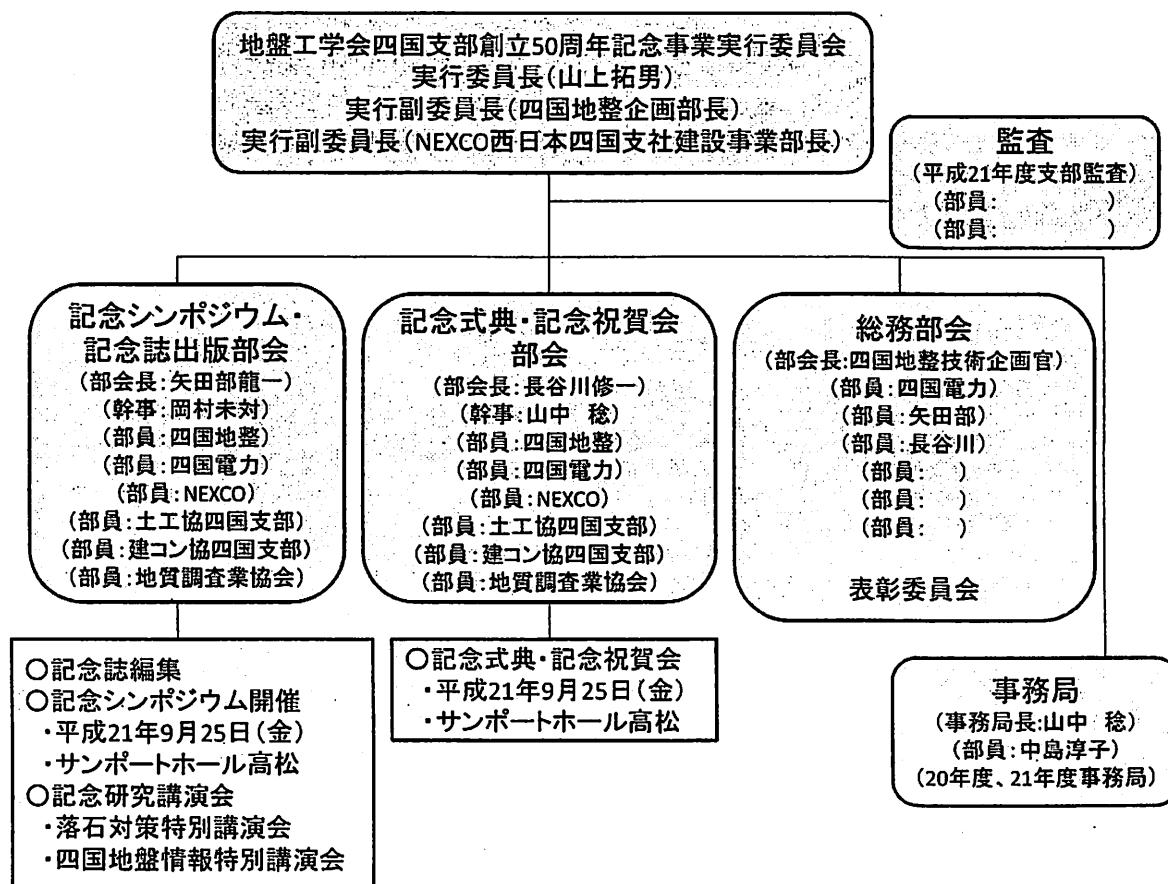
## 平成21年度以降の事業予定

- ・平成21年度に地盤工学会四国支部 創立50周年記念事業を実施
- ・平成22年度に地盤工学会 全国大会を四国（愛媛大学）にて実施を計画
- ・事務局等の分担履歴

年度	事務局	技術研究 発表会	講習会	見学会	学術講演会	建設フェア	主要事業
H2	愛媛大学			高知大学	土木学会		H.1…30周年(四国地建)
H3	四国電力	愛媛大学					
H4	高知大学	徳島大学	四国電力		土木学会		全国大会(高知大学)
H5	香川大学	高知大学					
H6	徳島大学				土木学会		
H7	香川大学	愛媛大学					
H8	JH四国	徳島大学			土木学会		
H9	愛媛大学						
H10	四国地建	高知大学			土木学会		IS-Shikoku(愛媛大学)
H11	四国電力	四国電力	四国電力		四国電力	愛媛大学	40周年(四国地建)
H12	高知大学	愛媛大学	JH四国	愛媛大学	土木学会	高知大学	
H13	香川大学	高知大学	四電、香川大	高知大学	愛媛大学	徳島大学	全国大会(徳島大学)
H14	徳島大学	徳島大学	四国地整	徳島大学	土木学会	香川大学	
H15	JH四国	香川大学	JH四国	香川大学	高知高専	愛媛大学	土木学会全国大会(徳島大学)
H16	愛媛大学	愛媛大学	香川大、四電	愛媛大学	土木学会	高知大学	
H17	四国地整	高知大学	四国地整	高知大学	愛媛大学		
H18	四国電力	徳島大学	四国電力	徳島大学	土木学会		
H19	香川大学	香川大学	NEXCO	香川大学	高知大学		
H20	徳島大学	愛媛大学	香川大学	愛媛大学	土木学会		
H21	NEXCO	高知大学	四国地整	高知大学	愛媛大学		50周年記念事業
H22	愛媛大学	徳島大学	四国電力	徳島大学	土木学会		全国大会(愛媛大学)

## 地盤工学会四国支部創立 50 周年記念事業実施計画案

実行委員会組織案	(名称：地盤工学会四国支部創立 50 周年記念事業実行委員会)
組織	
実行委員長	支部長(H20 年度)
実行副委員長	四国地方整備局企画部長、NEXCO 西日本四国支社建設事業部長
実行委員	支部役員(H20 年度副支部長、評議員、平成 21 年度支部長、副支部長、評議員)
部会	記念式典・記念祝賀会部会 (部会長：長谷川修一) 記念シンポジウム・記念誌出版部会 (部会長：矢田部龍一) 総務部会 (部会長：四国地方整備局企画部技術企画官)
事務局	
監査	



### 委員会開催スケジュール

平成 20 年 9 月 29 日	地盤工学会四国支部創立 50 周年記念事業実行委員会設立総会
平成 21 年 2 月 20 日 (支部評議員会に併せて)	// 第 2 回委員会開催
平成 21 年 4 月 21 日 (支部総会に併せて)	// 第 3 回委員会開催
平成 21 年 9 月 25 日 (設立記念式典に併せて)	// 第 4 回委員会開催

## 社団法人 地盤工学会四国支部規程

昭和34年9月29日制定  
 昭和43年7月19日一部改正  
 平成 3年6月 6日一部改正  
 平成 9年4月22日一部改正  
 平成11年6月29日一部改正  
 平成19年4月17日一部改正

**第1条** 社団法人地盤工学会定款第3条に基づき、支部を置き、社団法人地盤工学会四国支部という。

**第2条** 社団法人地盤工学会四国支部（以下支部という）は、徳島県、香川県、愛媛県、高知県に在住する会員をもって組織する。

**第3条** 支部は、この学会の目的を達成するための事業のうち、支部に関するものを行う。

**第4条** 支部に次の役員を置く。

    支部長 1名    副支部長 3名    評議員 若干名  
     支部監事 2名    幹事 若干名（内1名を幹事長とする。）

**第5条** 支部の事務局は、原則として支部長の勤務する職場内に置く。

**第6条** 支部は、地盤工学会定款第21条及び選挙規則第6条、8条により、支部代議員候補者の選考を行なう。

**第7条** 次期の支部長、副支部長、評議員、支部監事および幹事は、評議員会が支部内の会員の中から推薦し、総会において承認を得る。ただし、任期中に欠員が生じた場合には、次期総会までの残任期間中にかぎり、評議員会においてその後任者をきめることができる。

**第8条** 役員の任期は1年とし、総会から次の総会までとする。ただし、役員は、その任期満了後でも後任者が就任するまでは、その職務を行う。

**第9条** 支部長は支部を代表し、その会務を総理する。副支部長は、支部長を補佐し、支部長が事故あるときは、その職務を代行する。

評議員は、支部に関する重要事項を評議する。

支部監事は、支部に関する会計および支部役員の業務執行状況等を監査し、その結果を評議員会に連絡する。

幹事は、支部に関する事務を処理し、幹事長はこれを総括する。

**第10条** 支部に顧問若干名をおくことができる。顧問は役員の諮問に応じる。顧問は、幹事会、評議員会で推薦し、支部長が委嘱する。

**第11条** 支部の会議は総会、評議員会、幹事会とする。総会は毎年1回、会計年度終了後1ヶ月以内に招集し、臨時総会、評議員会は支部長が必要と認めたときに招集する。

幹事会は、幹事長が必要と認めたときに支部長の承認を得て招集する。

**第12条** 総会は、四国地区在住会員現在数の20分の1以上、評議員会は評議員現在数の過半数の出席によって成立する。当該議事につき書面をもってあらかじめ意志を表示した者は出席者とみなす。

**第13条** 総会、評議員会の議事は、出席者の過半数をもって決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。ただし、支部規程の変更に関しては出席者の3分の2以上の同意を必要とする。

**第14条** 支部の会計年度は、毎年4月1日に始まり、翌年3月31日に終わる。

**第15条** 支部の経費は、交付金、寄付金およびその他の収入をもってあてる。

**第16条** 支部事業計画および収支予算は会計年度開始1ヶ月前までに評議員会が議決し、支部長は直ちに会長に届け出る。事業報告及び収支決算報告は評議員会の議決を経て総会の承認を受ける。

支部長は、会計年度終了後1ヶ月以内に事業報告および収支決算報告を会長に届け出る。

評議員会が議決した事業計画および収支予算は総会に報告する。

**第17条** 支部及び地盤工学の発展に関して、顕著な貢献をしたと認められる者に対して、支部は別途定める規程に基づき表彰することができる。

**第18条** この規程を改廃しようとするときは、総会の議決を経、かつ、理事会の承認を得なければならない。

## 付 則

この規定は、理事会承認の日から施行する。

社団法人 地盤工学会  
四国支部地盤工学振興基金規程

平成12年4月27日理事会制定

- 第1条 この基金は、四国支部地盤工学振興基金（以下「基金」という）と称し、社団法人地盤工学会四国支部経理に属する。
- 第2条 この基金は、次のいずれかの目的に合致する有意義な事業を四国支部が主体的に行い、もって地盤工学の振興と発展を図ることを目的とする。
- (1) 四国地方における自然災害の調査、研究
  - (2) 四国地区において特別に実施される地盤工学に関する学術的事業
  - (3) 四国支部の特別事業
- 第3条 この基金は、四国支部一般会計からの繰入、ならびに本会会員および広く地盤工学会の活動に理解を示す者の寄附をもって充当する。
2. 寄附は、寄附者の意志を尊重したうえで四国支部評議員会の承認を経てこの基金に組み入れるものとする。
- 第4条 この基金の運用について四国支部評議員会は、必要に応じ細則・内規等を定めることができる。
- 第5条 この基金は、特別会計とし、銀行預金等として運用する。
2. この基金の管理は支部長が行う。
- 第6条 この基金を、第2条に規定する事業目的以外には使用しない。やむなく事業目的以外に使用する場合は、四国支部評議員会の審議を経て、理事会の承認を得なければならない。
- 第7条 この規程は、四国支部評議員会の議決を経て、理事会の承認を得て制定する。
2. この規程は、四国支部評議員会の議決を経て、理事会の承認を得て変更することができる。
  3. 変更後の規程は理事会承認の日から実施する。
- 第8条 この規程は平成12年5月30日から実施する。

社団法人 地盤工学会  
四国支部地盤工学振興基金運用細則

平成12年4月20日四国支部評議員会制定

- 第1条 この細則は、「四国支部地盤工学振興基金規程」第4条に基づき、その必要事項を定める。
- 第2条 この基金の運用にあたっては、次のいずれかを満足するとき、支部長は四国支部評議員会を召集し、出席者の半数以上の賛成により運用を決定する。
- 1) 支部長が必要と認めたとき。
  - 2) 四国支部幹事会において出席者の半数以上の幹事の賛成が得られたとき。
- 第3条 この基金の運用により得られた成果は、支部長に報告するものとし、支部長の要請がある場合には印刷物その他の方法をもって広く社会に公開する。
- 第4条 この基金の運用に当たっては、事業の責任者を明確にし、責任者により任命された会計責任者は当該年度の必要時期までに会計報告を支部長に行うものとする。
- 第5条 責任者は、基金の運用その他の事項に関する説明を評議員会において行い、その了承を得る。
- 第6条 この細則は、四国支部評議員会の議決を経て変更することができる。この場合は、理事会に報告するものとする。
2. 変更後の細則は四国支部評議員会の議決の日から実施する。
- 第7条 この細則は平成12年5月30日から実施する。

## 地盤工学会四国支部特別表彰規程

平成11年4月21日制定  
平成20年1月8日改定

### (目的)

第1条 この規程は、地盤工学会四国支部（以下「支部」という）規程第17条に基づき、支部及び地盤工学の発展に関して、顕著な貢献をしたと認められる者を表彰するために定めたものである。

### (対象)

第2条 表彰は、表彰授与当該年度を除く過去10会計年度における以下に掲げる功績を対象とする。但し、同一の事項について、本部表彰の履歴のある者は対象外とする。

### (功労賞)

第3条 功労賞は、支部の発展及び支部並びに本部の主催する重要な行事の実施にあたり、顕著な貢献をしたと認められる者に授与するものとする。

### (技術開発賞)

第4条 技術開発賞は、地盤工学における新技術の開発及びその実用化等で顕著な貢献をし、地盤工学の発展を通じて社会に貢献したと認められる者に授与するものとする。

### (技術功労賞)

第5条 技術功労賞は、長年にわたり人目に付きにくい業務に従事し、地道な実務の積み重ねを通じて地盤工学の進歩発展に功労があった者に授与するものとする。

### (賞の授与年度)

第6条 賞は、10年に一度、支部発足10年毎の節目の年度に授与するものとする。

### (選考委員会及び賞の決定方法)

第7条 賞選考委員会（以下「委員会」という）において賞を選考する。

第8条 委員会は、支部の10周年毎の記念事業実行委員会委員（以下「実行委員会」という）で構成される。

2. 委員会の長は、実行委員長が兼任する。
3. 実行委員会を設けない場合の委員会委員は、支部役員の中から5人以内で支部長が委員を選定し、委嘱する。

第9条 賞の受賞候補者は、支部役員が委員会に推薦理由を付して推薦し、委員会で決定するものとする。

### (表彰の時期及び表彰方法)

第10条 表彰は、支部の10周年毎の記念行事（以下「記念行事」という）の席において賞状及び副賞を授与して行う。

2. 記念行事を行わない場合は、10周年毎の当該年度内において、支部長の指定する日に表彰式を行うものとする。

### (附則)

この規程は、平成20年1月8日より施行する。

## 地盤工学会四国支部年次表彰規程

平成20年1月8日制定

### (目的)

第1条 この規程は、地盤工学会四国支部(以下「支部」という)規程第17条に基づき、地盤工学の学術並びに技術の発展と学会支部活動の活性化に寄与した優れた業績を表彰するために定めたものである。

### (表彰対象)

第2条 表彰は「地盤工学会四国支部賞(以下、四国支部賞といふ)」を授与して行う。四国支部賞は、原則として四国支部の会員による次のいずれかに該当する業績を対象として、個人(複数可)または団体に授与する。

#### (1) 技術賞

四国地域で実施され、四国支部における技術研究発表会等で発表された調査、設計及び施工等の個別技術に係る業績

#### (2) 技術開発賞

活用性、汎用性に優れた技術の開発及び実用化等

#### (3) 研究・論文賞

四国支部および各県の地盤工学研究会で発表された創造性、特殊性が活かされた学術的に優れた研究論文及び研究報告等

#### (4) 功績賞

① 地盤工学会四国支部の活動に永年従事し、学会の進歩、発展、運営に顕著な貢献をしたと認められる業績等

② 地盤工学会四国支部関係技術者の育成及び技術力向上に顕著な貢献をしたと認められる業績等

③ 地盤工学会四国支部の広報ならびに社会的地位向上に貢献をしたと認められる業績等

第3条 四国支部賞は第2条の各項目の名称を「四国支部賞(賞名)」と称する。各部門について該当者のいない場合には授与を見送る。

第4条 受賞者は原則として四国支部に所属する会員または特別会員とする。

### (表彰委員会)

第5条 四国支部賞を選考する表彰委員会(以下「委員会」という)を設置する。

第6条 委員会は委員長、幹事1名、委員4名とする。

第7条 委員長は支部長とする。

第8条 幹事、委員は委員長が選任する。

### (応募)

第9条 四国支部賞の応募は別途定める「応募推薦要領」による。

### (審査及び決定)

第10条 応募業績の審査及び受賞業績の決定は委員会で行う。

### (表彰)

第11条 総会において支部長が賞状を授与する。

### (附則)

第12条 この規程は、平成20年1月8日より施行する。

## 地盤工学会四国支部技術研究発表会表彰規程

平成11年4月21日制定  
平成20年1月8日改定

### (目的)

第1条 この規程は、地盤工学に係る技術の発展及び技術者の意識向上を図ることを目的として、地盤工学会四国支部規程第17条に基づき、支部主催の技術研究発表会における優秀論文の口頭発表者を優秀発表賞（以下「賞」という）として表彰するために定めたものである。

### (選考及び賞の決定方法)

第2条 賞を選考するために、3名以上の採点委員で以下に掲げる項目について採点を行い、採点結果をもとに論文審査委員会が選考を行うものとする。

2. 採点項目は以下のとおりとする。なお、採点項目は、論文審査委員会が変更することができる。

(1) 発表内容, (2) 発表技術, (3) 発表時間, (4) 質疑応答

### (採点委員および論文審査委員会)

第3条 採点委員は、論文審査委員会が指名する。

2. 論文審査委員会は、支部幹事長及び支部幹事の5名で構成する。

### (表彰方法)

第4条 表彰は、支部長が行う。

2. 表彰を行うにあたっては、賞状を授与することができる。

### (附則)

この規程は、平成20年1月8日より施行する。

地盤工学会四国支部旅費、謝金等支払い内規

1. 謝金：本部内規に準じて支給する（平成10年11月30日理事会暫定改正）

（ ）はH10年度

項目*	支給単位	支給額
講師料	講演時間60分まで10分ごとに 講演時間60分を越え10分増すごとに (講演時間1時間あたり )	2,500 円 2,000 円 (14,000 円)
特別講師	講演時間60分まで 講演時間60分を越え30分増すごとに (講演時間1時間あたり )	15,000 円 10,000 円 (30,000 円)
原稿料	会誌1ページ相当 (ワープロ仕上げ) 講習会テキスト書き下ろし原稿用紙1枚	2,500 円 (2,400 円) 920 円
アルバイト	1日あたり 1時間当たり	7,000 円 ( 同上 ) 900 円 ( 同上 )

2. 旅費：本部旅費支給規程(H15.12.19改正に準じる)

- ・原則として要求がある場合に支給する。

## ① 交通費

- ・タクシー等自動車を利用した車賃は支給しない。  
ただし、特別な事情でやむを得ず自動車を利用した場合の車賃は実費額とする。
- ・勤務個所および会場から最寄りのJR駅まで、JR以外の交通機関を利用する場合の運賃は一律1,000円とする。
- ・航空機利用の場合は航空運賃を支給する。この場合、空港の最寄りのJR駅から空港までの交通機関利用料金一律1,000円、東京空港と会場最寄駅までの交通機関利用料金一律1,000円とする。
- ・主な地域からの例（通常期の場合、繁忙期、閑散期は別途考慮）  
高松での幹事会等への出席

- ・高松市内から 2,000円（市内交通費）
- ・高松市外から 3,000円

② 日 当：1,800円（片道120km以上の場合）

③ 宿泊費：9,000円（実費がこれ以上の場合は別途協議）

ただし、上記内容が所属機関の旅費規程等と相違があり、申し出があった場合は所属機関の規程から算出した金額を支給する。

(平成18年2月22日評議員会承認)

地盤工学会四国支部会計管理体制〔留意事項〕

1. 支部交付金は支部が開設した専用口座を設けて対応する。
2. 支部会計の通帳および現金を保管する場所は、関係者以外は自由には出入りできない施錠できる部屋内、かつ、金庫もしくは施錠できる什器内とする。
3. 通帳と印鑑、カードは別々に保管する。
4. 通帳には印を押さない。もしくは押さないようにしてもらう。
5. カードには暗証番号を付記しない。
6. カードは原則、支部会計責任者が保持し、保管する場合には前記、通帳・現金の保管場所と同様、関係者以外は自由には出入りできない施錠できる部屋内、かつ、金庫もしくは施錠できる什器内とする。
7. 支部会計責任者は定期的に口座の残金を確認する。

(平成12年9月25日本部提出書類より)

各県地盤工学研究会助成内規

1. 助成方法

各県地盤工学研究会の事業を行う費用の一部を負担する。負担額は各年度の事業計画に計上する。

2. 用途

助成金は、各県地盤工学研究会が地盤工学会員に対して事業を行うための費用にすることができる。

3. 報告

各地盤工学研究会は、地盤工学会四国支部に事業内容の報告を会計年度中に行う。

(平成17年4月15日評議員会承認)